

多摩西部支部公式 SNS

YouTube



LINE



発行所
 東京土建一般労働組合
 多摩西部支部
 立川市栄町3-29-19
 電話 042-535-3332(代)
 発行責任者 畑山勝利

本部・支部・全分会が月間目標達成！ 4,000人支部実現へ向けて一歩前進！



4月から5月を春の拡大月間として位置づけ、新たな仲間を159人（本部は136人）迎える入ることを目標に取り組みました。結果は、仲間や未加入者への訪問や電話連絡を旺盛に行い、支部定期大会後の出陣式での持ち寄り85人を皮切りに166人の成果で本部・支部・全分会が目標を達成することができました。あらためまして組合員やご家族の奮闘

・協力に感謝いたします。

春の月間は、事業所の従業員や独立に伴う労災や各種社会保険の加入、健康保険料見直しに伴う土建国保の加入が成果の特徴となり、一人でも多くの仲間へ組合のメリットを広げ脱退防止も同時に行う方針で取り組みました。5月30日には多くの仲間が打上式に参加し、達成を共に分かち合いました。

電話掛け・訪問・分会レクで仲間との対話が目標達成のカギとなる

本日、我々青年部は、拝島分会さんと拝東一分会さんに拡大アピールをしに行きました。快く迎えてくれた小村分会長をはじめとした分会のみなさんに対して我々青年部はさらに結集して頑張っていく思いに繋がりました。



(青年部副部長・佐藤陽さん 写真左)



▲仲間へ電話をかける
けやき分会



▲対象者へ電話をかける
玉川分会



▲日曜行動で仲間を訪問する
拝島分会

高松分会、若手呼び掛けで分会レクへ60人の参加



ピワ狩りを楽しむ参加者

5月28日(日)に高松分会は千葉県南房総へピワ狩りに言ってきました。旅行はバス2台60人の参加となりました。久しぶりの海ほたるでトイレ休憩をして現地へ向かいました。到着後に園の係より説明を聞き、ピワ狩りが始まり、皆さん口一杯にピワを頬張り甘いと言いながら楽しみました。バスの中では添乗員さんに何個食べたかの質問があり、15個の返事や1個と半分と幼い子供の声もありました。かわいい感想にバス内は和みました。やがて漁師料理館山に着き昼食となり、貝焼きバイキングで

ホタテやサザエ、海鮮丼などの食べ放題で大満足でした。最後は渚の駅館山へ移動し、ミニ水族館や博物館の見学、日本一長い栈橋で潮風を胸一杯に吸いながら散策を行い、帰路につきました。途中で渋滞もありましたが無事到着することができました。今回は子供連れの若い仲間の参加もあり、これを機に分会行事へ気軽に参加してもらえようになればと思います。

(高松分会10群・藤代進也さん)

春の拡大月間成果表 (6/1時点)

分会	月間目標	月間成果	月間残
砂川	10	★12	-2
けやき	10	★13	-3
高松	12	★17	-5
国立	6	★6	0
立川南	8	★8	0
富士見	9	★13	-4
昭島中央	9	★9	0
玉川	10	★10	0
拝東1	11	★15	-4
拝島	14	★14	0
事業所	60	49	11
直属			0
合計	159	★166	-7

憩をして現地へ向かいました。到着後に園の係より説明を聞き、ピワ狩りが始まり、皆さん口一杯にピワを頬張り甘いと言いながら楽しみました。バスの中では添乗員さんに何個食べたかの質問があり、15個の返事や1個と半分と幼い子供の声もありました。かわいい感想にバス内は和みました。やがて漁師料理館山に着き昼食となり、貝焼きバイキングで

第94回三多摩メーデー



メーデーとは毎年5月1日に世界各国で開催される労働者の祭典です。1886年5月1日にアメリカ

のシカゴの労働者が8時間労働制を訴えたのが始まりです。

12時間から14時間労働が当たり前だった時代に労働条件改善を求めて35万人もの労働者が終結し大規模なストライキが行われました。

結果的に改善はみられませんでした。翌年にパリでアメリカのメーデーが「8時間労働の実現を目指す活動」として承認された事で世界各地へ広まってきました。日本でも100万人が集まった終戦後の食料不足解消のための『食料メーデー（1946年）』や皇居前で労働者によるデモ隊と警察官が衝突し、死者や負傷者が出た『血のメーデー（1952年）』など多くの労働者が権利を訴えてきました。

青年部作成のデコカーが優秀賞受賞!

5月1日(月)、井之頭公園にて第94回三多摩メーデーが開催されました。4年ぶりの通常開催となったため、多くの仲間が集まり参加者は全体1,500人(多摩西部支部65人)となりました。

メーデーのメインスローガンは『改憲、大軍拡・増税の反対や国民主権と人権の尊重、物価上昇を上回る大幅賃上げの実現、労働時間の短縮、医療提携体制や公衆衛生体制の拡充、年金の引き上げ、マイナンバーカードの反対、格差と貧困の拡大阻止、



消費税減税、インボイス制度の導入反対、子供のための保育改善、公務・公共サービスの改善、教育の無償化』などが掲げられました。

当日はデコカーのコンテストも行われ、多摩西部支部の青年部は作成日数14日間(日曜3回含む)の奮闘で作成したデコカーは、暮らしの改善や賃金の引き上げを訴え、『優秀賞』を受賞することができました。



デコカーを先頭にデモ行進

後継者対策部会兼交流会



中央中段が玉川分会9群・松本健太郎さん

後継者対策部の新体制と後継者世代の活動家の交流を目的とした部会兼交流会を5月13日(土)に立川のスエヒロで行いました。

当日は15人の参加で新年度のイベントや若手活動家発掘をどのように取り組んで行くかなど議論と交流をしました。

◎ 交流会参加者の声 ◎

この度、後継者交流会に初めて参加させて頂きました。

東京土建の組合員になってまだ2年に満たず、交流会の主旨についてはよく分かっておりませんでした。

私自身がリフォーム業をやらせて頂いているので、工事のご協力を頂ける職人さんや業者さんとの出会い、繋がりたいという思いで参加させて頂きましたが、思いの外、皆様からは東京土建の組織の事や取り組み、これからの展望など熱いお話を頂き、皆様の東京土建への愛を強く感じました。

皆様のお役に立てる事を励みに自分の仕事を頑張りたいと思います。今後とも、どうかよろしくお願い致します。

(玉川分会9群・(株)en人 松本健太郎さん)

2023年 新年度役員学習会



渡邊書記

『東京土建とは』という題材で東京土建の歴史から労働組合の役割を再確認し、群会議の必要性や各仲間の協力で要求実現を勝ち取る主旨の講演がありました。

東京土建は、1947年に石工を中心とした労働者70人が集まり結成されました。建設業であればだれでも加入できる産業別個人加盟のスタイルをとり、結成から73年で組織数は11万人に達し、建設従事者の組合としては日本最大となりました。「ケガと弁当は自分持ち」と言われ様々な補償を受けられなかった業界に拡大による数の力と運動で建設国保や一人親方労災の設立を勝ち取ることができました。様々な運動の前進を図るため、群会議の参加を勝ち取り、役員が中心となって運動を仲間へ伝えることが必要だと訴えがありました。



佐藤書記

多摩西部支部の現状・課題とその克服に向けての講演があり、新自由主義を推進する国の方針により「今だけ、金だけ、自分だけ」という言葉で象徴されるよう仲間の繋がりが遮断される傾向にあり、労働組合がこのような時代の光明となる必要があると報告がありました。時代背景とコロナの影響による運動の縮小などが要因となり、分会・群の機能の低下や青年・後継者世代の活動参加が減少傾向にあります。組合結成当初と現在ではインターネットの普及や機械化が進み、人と人との繋がりが希薄になっている。仲間と再構築するために仲間の生活環境に沿ったアプローチをして、組合運動の活性化をみなさんと共に頑張っていきたいと訴えがありました。



大房書記

分会会計の役割・分会財政（還元金）の用途について講演があり、分会活動を継続するうえで注意や力を入れる事項について報告がありました。注意する事項としては『分会のお金は分会組合員に平等に役立てる』『本・支部で決めた組合納入金以外のお金を組合員から徴収する事は許されない』『手当や行動日を上乘せしない』などが挙げられました。また、分会活動をすすめていくためには予算の作成が重要となり、あらかじめ運動の計画を立て（方針）、実行し、総括を行うことが重要となります。分会四役が中心となり、分会機関会議で仲間から同意を得ながら運動に効果的な支出を心掛けて奮闘をお願いしたいと訴えがありました。

4月23日(日)、支部会館にて分会の役員や新たに役員となった仲間を対象にした新年度役員学習会を40人の参加で行いました。当日は、3つの講演（東京土建の基礎、組織、財政）を受けて、5つの分散会に分かれて『役員になった経緯』『活動家発掘について』など意見交流を行い、様々な課題を支部や分会役員が共有して支部の運動前進を図りました。参加した仲間からは『組合員が運動へ参加しなければならない理由が分かった』『交流会に参加する事で他の分会の状況など分かり勉強になった』など今年度の運動前進を誓い合いました。



参加者からの発言（抜粋）

組合活動の参加を促す手立て

- ◎ 若返りを図るためには分会・群の定年制を設けてはどうか
- ◎ 群会議をバラバラで行っている分会は合同群会議を行い、組合員同士の繋がりを作るのはどうか
- ◎ 群のグループラインを使って組合員に情報発信をしている。ほぼ100%出席。便利なツールは活用すべき



厚生文化部 味噌づくり体験



5月21日(日)、23人の参加で立川市の女性総合センターアームで厚生文化部主催の味噌づくりを行いました。当日は事業所分會所属

で栄養士の佐藤つぐみさん(株式会社杉本組)が講師となり、日本の食文化を子供にも伝えたいという思いを参加者へ広げることができました。当日は2人の参加者から感想をいただきました。

— 参加者の声 —

今回お知らせを受け、祖母が作ってくれていた味噌が懐かしく自分では作れないため、とても興味があり参加させて頂きました。

講師の佐藤さんのお話も大変興味深く、添加物が入っていない大豆・糀・塩だけの味噌は身体にも大変良いと思いました。今は簡単で美味しいものがすぐ手に入りますが、昔ながらのやり方は色々な意味で貴重だと改めて感じました。実際味噌づくりの工程に入ると大豆・糀を混ぜる作業が結構大変でしたが、その発酵して味噌が出来上がるのが楽しみです。

事務局の松井さんの段取りも素晴らしく、初めての組合員さんとも、楽しく交流しながら良い経験ができました。(拝島分会9群・森越奈美子さん)

お手伝いのつもりで参加しましたが楽しそうだったため、結果的に作らせていただきました。汗をかきながら大変でしたが皆でワイワイと楽しかったです。(砂川分会1群・橋本春男さん)

盛年会主催 多摩川クリーン作戦



5月21日(日)、多摩川クリーン作戦を盛年会の会員25人の参加で行いました。毎年、昭島市では市の取り組み事業として多摩川の清掃を行っています。今年

はコロナの影響で4年ぶりとなりましたが、大勢の人が集まっています。昭島市長の挨拶の後、一斉に清掃が始まり、私達も汗をかきながら懸命にゴミを集め、あっという間に綺麗になりました。参加した仲間の姿を見て、このような活動を継続して良かった。これからも続けていかなければならないと感じました。最後に蛭田副会長のお疲れ様の言葉と、9月のクリーニング作戦の呼びかけをして、無事イベントを終了することができました。(盛年会会長・中村敦司さん)

5・3 憲法集会



日本国憲法が施行された記念日である5月3日に憲法を守り改憲を反対する憲法大集会在、有明防災公園で2万5000人(支部から4人)の参加で開催されました。集会には共産党の委員長をはじめ、れいわ新選組や社民党の党首も応援演説に駆け付け、憲法9条の改憲や軍事費拡張に伴う増税を反対・阻止しようと呼びかけました。集会後に豊洲と台場に分散デモ行進も行いました。(玉川分会6群・齊藤薫さん)

女性の会

春の拡大報告

全分会からのご協力をいただき、21人(5/29現在)の仲間を増やすことができました。拡大目標、超過達成です。ありがとうございました。女性の会では、3年間で300人以上の拡大を目指し、日々、拡大を意識しながら活動していきます。ご協力、よろしくお願い致します。



布ぞうり販売開始

サークル活動で製作している布ぞうり、会員の岡さんの手作りで丁寧に仕上げた一品です。1足1,000円で販売をいたします。ご希望の方は、支部までお問い合わせ下さい。



【お知らせ】定例会・サークル活動

- 6月12日(月) 支部3F 10:30～
サークル活動「布ぞうり」製作1回目13:00～15:00
 - 7月14日(金) 支部3F 10:30～
サークル活動「布ぞうり」製作2回目13:00～15:00
- ※布ぞうり製作2回目となりますので、1回目に参加した方が対象となります。
※定例会終了後、駅宣準備を予定しています。ご協力お願いします。



Facebook 更新中!!

定例会や四役会議、イベントの情報など配信

多摩西部支部女性の会 お問い合わせ先 042-535-3332 担当: 吉野